

## 会議録

|       |  |
|-------|--|
| 会議の名称 | 社会教育委員の会議（8月定例会）会議録  |
| 開催日時  | 平成25年8月21日（水曜日）午後2時から4時まで  |
| 開催場所  | 保谷庁舎3階 会議室   |
| 出席者   | 委員：須永議長、内田副議長、岩崎委員、川崎委員、木下委員、操野委員、沼本委員、服部委員、原委員、森田委員、矢野委員、山田委員<br>事務局：礒崎社会教育課長、神田主査<br>欠席：屋宮委員   |
| 議題    | (1) 生涯学習の推進について<br>(2) 報告、その他  |
| 配布資料  | 1 平成24年度社会教育課事業実績報告書 公民館事業実績報告書 図書館事業実績報告書<br>2 実施計画推進事業一覧（平成21年度から25年度）<br>3 西東京市生涯学習推進計画推進事業進捗状況（平成21年度から25年度）<br>4 各課別推進事業評価（平成21年度から23年度）<br>○平成25年度社会教育委員の会議日程一覧（平成25年7月～平成26年6月）<br>○都市社連協第4ブロック研修会の日程変更について<br>○都市社連協交流大会 社会教育委員研修会のお知らせについて<br>○関東甲信越静社会教育研究大会および全国社会教育研究大会のお知らせについて<br>○西東京市図書館だより 第50号<br>○みんなの生涯学習 No.110 |
| 記録方法  | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録   |
| 会議内容  |  |

平成25年7月定例会議の会議録を承認する。

**(1) 生涯学習の推進について**

**1.平成24年度社会教育関係の事業概要**

○事務局：

配布資料1「平成24年度社会教育課事業実績報告書/ 公民館事業実績報告書/図書館事業実績報告書」について、説明。

西東京市の社会教育行政でどのような事業が実施されているかみていただきたい。

**2.生涯学習推進計画の進捗状況について**

○事務局：

配布資料2「実施計画推進事業一覧（平成21年度から25年度）」、配布資料3「西東京市生涯学習推進計画推進事業進捗状況（平成21年度から25年度）」配布資料4「各課別推進事業評価（平成21年度から23年度）」に添って、生涯学習推進計画の推進状況について説明。

平成21年3月に策定した計画に基づき、まず、庁内の「生涯学習連絡調整会議」において3か年の実施計画を策定し、全庁的な取り組みにより生涯学習を推進してきた。実施計画に位置付けられた243の推進事業のうち、「継続」と位置づけられた事業は、各担当課で進行管理をすることとし、全庁的な進捗管理については「充実」「新規」とされた63事業について行うこととした。市民参加の「生涯学習推進懇談会」を設置し、意見を伺いながら計画の進行管理を行った。

平成23年度には、3か年の進捗状況の総括として、63事業についての事業評価を行い、3か年の達成度に基づいて、その後2か年（平成24年度～平成25年度）の実施計画における推進事業の位置づけを行った。その結果、実施計画の位置づけが「完了」「継続」となった事業を除き、「充実」「見直し」「検討」となった33事業を24年度から25年度の進捗状況の対象事業とした。

3か年の推進事業の評価をみると、「目標達成に向け検討」という評価が19事業で全事業の30パーセントあり、3年間の取り組みでまだ進んでいない事業もある。施策別での取り組み状況では、事業や講座などの学習支援は進められているが、情報整備や庁内の連携といった施策への取り組みが進んでいない状況がある。

主な質疑応答 意見

○委員：

243事業があがっているが、これらの事業をカテゴリー化して、どういう分野の教育が推進されているかわかるようなものはあるのか。

事務局：

推進事業は、庁内の全事業を抽出したものではなく、西東京市の生涯学習の基礎データとして、分野別の事業をまとめたものはない。方法としては、事務報告から関連事業の抜粋やヒアリングで、ある程度行政がかかわっている事業の分野はわかると思う。しかし、市民団体やNPO、民間等の行っている生涯学習に係る事業も把握するとなると膨大になるだろう。

○委員：

食育や消費者教育など消費者センターなどで行っている個別事業は入っているのか。全庁的に網羅されていないと社会教育で取り組んでいない教育の分野が抜けてしまうのではないだろうか。

○事務局：

計画の推進事業には、具体的な事業名のものもあるが、大きい分野でとらえて事業名としているものがある。そのため、消費者教育関係は、「消費者センターの学習支援事業の強化（施策番号1225-4）」という推進事業の中で扱われている。食育についても、「食育推進計画の推進（施策番号2523-1）」として包括的に扱われている。分野別の教育の推進については、この計画で大きな分野での推進を位置づけた後に、青少年教育、家庭教育、消費者教育、人権教育などに関する個別事業を教育のカテゴリーごとに分け、教育分野ごとの実施計画を立てていくと、より明確に推進状況がわかると思う。

○委員：

推進事業は市の総合計画に掲げられている事業になっているのか。施策番号は総合計画などと共通なのか。市で共通に事業が区分されていれば、どの分野の教育にどのくらい予算がかけられているかも見ることが出来るだろう。

事務局：

この計画の施策番号は市の総合計画とは違う。生涯学習計画の推進事業が庁内の事業をすべて番号化できているわけではない。また、同じ事業だとしても、位置付ける計画によって事業名を変えていることもある。そのため、この事業一覧で教育分野ごとの予算を見ていく事は難しい。この事業一覧では、全庁的に生涯学習に関する事業が多岐にわたって行われているということを見て頂ければと思う。

○委員：

「市民提案制度による講座事業の創設（施策番号3203-1）」だが、24年度の位置づけが完了となっても24年度の取り組み内容の記載があるのはどういうことか。また、25年度の欄が斜線になっているが、それは今までどおり継続していくということか。

この事業はとても大切だと思うが、「完了」ということは、目的達成ということで、今後は市民が自主的に取り組むということか。

○事務局：

この事業は、21年度から23年度の事業評価で「見直し」とし、24年度の取り組みも含め検討した結果、完了ということになった。25年度については、完了後も引き続き同様に実施をしている。この事業の取り組みとしては、21年度に、公民館を会場にして登録人材を活用したトライアル事業を実施したが、会場の確保や講師の選定など調整の難しさがあった。その後、登録人材による提案講座一覧を作成したことで、今期計画で目指していたものは一応完了とした。今後はまた、別な方法での人材活用について検討をしていきたいと考えている。

○委員：

配布資料2「実施計画推進事業一覧（平成21年度から25年度）」をみると、担当課が違うが、推進事業名が同じなので、どのような事業をやっているのかわかりづらい。

○事務局：

計画に位置付ける推進事業ということで、施策ごとに同じような目標をもった各課の個別事業をあげてもらい実施計画を策定した。その場合、具体的な事業名とならなかったものは、全課同じ事業名となっており、事業概要のなかで具体的な各課の取り組みを説明してもらっている。実施計画の243事業の取り組み内容をまとめた資料もあるが、膨大なものである。そのため、大変申し訳なかったが、今回の配布資料では、資料3「西東京市生涯学習推進計画推進事業進捗状況（平成21年度から25年度）」で、進捗状況調査の対象になった63事業については各課であげられた事業の内容がわかるが、配布資料2「実施計画推進事業一覧（平成21年度から25年度）」で「継続」の位置づけとなっている事業については資料3でも詳細がでておらず、分かりづらくなっていると思う。

○委員：

庁内で生涯学習としての目標を掲げ各課で取り組むとしても、同じ推進事業名だけだとイメージがわからない。

事務局：

同じ推進事業を各課の視点や特徴を生かして全庁的に取り組んでいくということを確認してもらい、生涯学習推進への意識づけを図っている。各課でやっていることをこの計画によって生涯学習の視点で取り組んでいただきたいというところである。

○委員：

いくつかの課が担当する「各種相談での学習情報の活用 提供（施策1122-1～6）」という推進事業があるが、例えば、高齢者支援課での相談の時に、学習をしたいという相談があればそれに高齢者支援課でも応じるということではないか。それが、生涯学習推進になるということだろう。多文化共生の推進に関わっているが、そこでも何を学習したら良いかという相談が来る。その際、その担当者も必要な学習情報を収集するという意識づけが必要になり、それに対応することで市民の生涯学習を推進していることになるということだろう。全庁的に市民の生涯学習支援に取り組むということなら、学習相談を社会教育課につなぐだけではなく、それぞれがそういう視点を持ってやるということが大切だろう。

○委員：

生涯学習推進計画策定の目的は、庁内のいろいろな取り組みを生涯学習的にとりあげるということだと思う。子どもの読書推進計画の策定にかかわったが、その時にも庁内の事業に「子どもの読書」という別の光を当てて分析した。そのため各課がやっている事業が違う言葉をまとって登場することがあった。生涯学習となると子どもから大人までの全市的な広範にわたる事業になり、すべての内容を把握できないボリュームがあり、事業名や言葉を変えていくと内容が分からなくなっている。自分がかかわったことのある図書館の推進事業の中にも、資料2に「読み聞かせリーダー育成事業の推進（施策2243-2）」という事業があるが、「読み聞かせリーダー育成事業」のイメージがわからない。図書館で「読み聞かせボランティア養成講座」は実施されていると思うが、図書館でやっている事業にこの名前の付いた事業があるのだろうか。

○事務局：

進捗状況調査の対象となっていないため、今日の資料だけでは事業内容の詳細はわからないが、「新たな支援者の育成 活用」という施策での推進事業になっておる。読み聞かせボランティア養成講座を通じてリーダーを育成していくということではなかったかと思う。平成21年度時点での実施計画ということなので、その後内容や事業名の変更があったものもそのままになっているものがあるかもしれない。

○委員：

市民の行う青少年育成会の事業も、実施している側の目的と違い、健康推進という位置づけになっていたりする。

○事務局：

生涯学習推進計画の施策ごとに各課で該当する推進事業をあげてもらっているが、生涯学習推進の視点からの位置づけだともとの各課の目標値と違うところに位置づけられていることもあると思う。

### 3. 西東京市生涯学習推進計画庁内検討委員会の発足について

○事務局：

報告

次期生涯学習推進計画の策定に向け、生涯学習推進に関連する18部署の課長をメンバーとした「西東京市生涯学習推進計画庁内検討委員会」を発足させた。

第1回会議では、これまでの計画の進捗状況などを報告したうえで、次期計画の策定について検討した。

生涯学習推進計画については、平成16年から5カ年計画を2期10年間策定し、市民参加の懇談会の意見を聞きながら、進行管理を行い、全庁的に推進してきた。平成24年度に実施した市民意識調査によると、生涯学習社会の形成に関しては相対的に「重要度が低く、満足度が高い」という結果だった。この結果を踏まえ行革本部の評価としては、コスト面での削減を図り、より効果の高い施策の展開を検討するなど、コストを削減しながら成果を維持すべき施策とされた。

今後の生涯学習の推進については、生涯学習の理念は普遍的なものであり、計画推進の方向性についても大きな変更はないと考えているが、計画という形で事業を掲げると市民の学習課題や学習ニーズにタイムリーに対応できない部分もある。そのため、次期計画については、生涯学習の推進の指針を示すものとし、具体的な事業は、庁内各課の個別計画の中に掲げていただき、各課で年次的、計画的に生涯学習を推進してもらいたいということで、庁内検討委員会において了承を得た。

策定にあたっては、総合計画や教育計画とも整合性を図る必要があるため、今後の進め方について再度調整したうえで、骨子について整理をし、次回会議でお示ししたいと考えている。

(主な質疑応答 意見)

○委員：

平成26年度からの5年間の計画をつくるということか。

○事務局：

計画ではなく、指針という形で作りたいと考えている。この間、社会教育課として、進められなかったことがあるので、そういったことに重点的に取り組むためにも、指針を示して各課での積極的な取り組みをお願いし、各課で対応できない学習ニーズへの対応については、公民館や社会教育課で取り組んでいくということになるだろう。今後の庁内の生涯学習の推進にあたっては、各課がそれぞれの個別計画に基づく目標に添って専門的に進めている事業に、生涯学習の視点を加えてもらえるかということだと思う。例えば、庁内には市民参加マニュアルや市民協働マニュアルといったものがあるが、各課が生涯学習の視点を持って事業推進が図られるように、指針策定後にマニュアルのようなものを作成できればとも考えている。

また、「市民へ生涯学習の情報が行き届かない」、「社会教育関連部署の連携」といった課題もあり、対応については組織体制の見直しも含めて検討していく必要があると考え

ている。

○委員：

社会教育委員の会議から社会教育課を中心として公民館、図書館が一体になって社会教育を進めていくといった趣旨の提言をしたと思うが、そういった提言内容も生かしてもらえるのか。

○事務局：

教育委員会内の調整が必要な事項だが、今後の組織体制については公民館と密に調整をして進めていきたいと考えている。

○委員：

次回示される骨子案についてこの会議で検討するということか。

○事務局：

総合計画との調整もあるが、そういう方向で進めたいと考えている。骨子案では、これまでの経過も含め、計画から指針とする考え方についてもまとめたいと思う。

○委員：

資料3の事業で「生涯学習情報（施設、事業、団体、人材）ネットワークづくり（施策番号1403-1）」だが、調査研究が何年かおこなわれているが、現状ではネットワークが難しいということか。

事務局：

具体的な動きとして作られてこなかったという現状である。

○委員：

3か年の事業評価のCは、検討したが実施に至らなかったということで、懸案事項だということか。

○事務局：

この事業は、情報を持っている担当部署が集まり情報誌を作成することで、実効性のある情報誌作りや情報提供ができると考え、庁内で一体化した動きを創ろうとした事業で、生涯学習の推進にとっては重要な事業だと考えている。この5年間では担当課としてなかなか進めることが出来なかった事業もあるが、これからの生涯学習推進担当としての役割は、各課が生涯学習への取り組みを充実させたり、困難なくそういった事業に取り組めるように庁内で共有できる施策をつくりあげ、それに対応できる組織をつくっていくことではないかと思う。

それによって、市民ニーズの高い情報整備や生涯学習事業全体をみわたすといった取り組みも出来ていくのではないかと思う。この5年間の結果を踏まえ、総花的ではなく、今最も必要とされる取り組みを実現可能な形で指針に盛り込んでいけたらと考えている。

## (2) 報告 その他

### 1. 補助金説明会（8月13日）の報告

補助金の申請受付については、チラシ、ポスター、市報、HP等でPRを行った。

8月13日（水曜日）午後6時30分からの補助金説明会には、参加団体はなかった。

事前の問い合わせは、4団体からあり、そのうち1団体は前年申請した団体だった。

今回は、公民館講座から発足した団体やNPO法人などこれまで申請の多かった文化活動以外の団体からの相談があった。広く活用してもらいたいが、話を聞くと、会の組織体制や事業内容、団体条件など今回申請できるところまでの条件がなかなか整っていない状況があった。

いろいろな団体にこの補助金制度に関心を持ってもらうことで、相談を通じて団体の活動実態や困っていることを知ることができ良かったと思う。今後の課題としてこの制度で団体活動の現状に見合った支援ができるのかは、委員のご意見も聞きながら、検討をしていきたいと思う。

8月19日（月曜日）から9月9日（月曜日）までが補助金の申請期間なので、委員の方も地域の団体へ補助金制度についてご紹介して頂きたい。

### 2. 都市社連協理事会（7月26日）の報告

○議長：

今年度は西東京市が副会長市ということで活動をしていくことになるが、輪番制での役割分担ということで、なかなか新しい事に取り組めない状況があるように思う。社連協として何をやっていくのかといった議論ができればと思う。取り組みのきっかけとしてブロックでの交流を深めていければという感想を持った。

### 3. 都市社連協第4ブロック研修会（10月21日）の日程変更について

○事務局：

前回ご案内した研修会の日程が10月22日（火曜日）から10月21日（月曜日）に変更になった。そのため、10月の定例会議と重なったので、10月の定例会議を10月28日（月曜日）に変更した。また、日程の変更に伴い、マイクロバスの手配が出来なかった場合は、電車等での参加をお願いしたい。

○全委員：

了解した。

参加予定：須永委員、内田委員、岩崎委員、川崎委員、木下委員、操野委員、沼本委員、服部委員、原委員、森田委員、矢野委員

### 4. 全国社会教育研究大会（10月23日～25日）の参加について

○事務局：

参加手続きを事務局で行うので参加希望者は申し出て欲しい。

参加予定：木下委員

### 5. 関東甲信越静社会教育研究大会（11月14日～15日）の参加について

開催内容：関東甲信越静社会教育研究大会開催要項のとおり

開催日程：11月14日（木曜日）～15日（金曜日）栃木県日光市

参加予定：須永委員、原委員、森田委員、木下委員、内田委員、川崎委員、  
操野委員、服部委員

マイクロバスで送迎予定

#### **6.都市社連協交流大会（12月7日）の参加について**

○議長：

西東京市は副会長市ということで、今回の研修会でのファシリテーターを依頼されている。役割等詳細は、追って連絡があると思う。

開催内容：都市社連協交流大会 社会教育委員研修会実施要項のとおり

開催日程：12月7日(土曜日) 羽村市生涯学習センターゆとろぎ

参加予定：須永委員、内田委員、岩崎委員、木下委員、操野委員、沼本委員、  
服部委員、原委員、森田委員、矢野委員（懇親会も含めて参加）

マイクロバスで参加予定

#### **7.教育計画策定懇談会（7月26日、8月20日）の報告**

○議長：

次期教育計画の素案の内容について検討した。10月中旬には、計画素案についてパブリックコメントを実施し、2月には計画をまとめる。

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（8月定例会）は終了する。

次回会議 平成25年9月25日（水曜日）午後2時

